



第4回 CSSの「適用順」と「上書き」の特性を賢く使う

前回、前々回の2回にわたって説明したセレクタを使い、スタイル指定のためのプロパティを覚えれば、もうCSSを使ってデザインやレイアウトを行うことができます。しかし、ただやみくもにセレクタを追加していったら、不要なセレクタや重複したスタイルが増えたり、意図したCSSがうまく適用されなかったりといったトラブルを招きます。それを避けるために、CSSが持つ「適用順」や「上書き」という特性を覚えておきましょう。

(解説:こもりまさあき)

CSS、その名前に秘密が隠されている

CSSは本来「Cascading Style Sheet(カスケディング・スタイル・シート)」という言葉が略したものです。実はここにCSSの秘密が隠されています。

「Cascade(カスケード)」という単語は、縦列、連続させる、のよう「繋げていく」という意味を持っています。CSSによるデザインやレイアウトの表示は、スタイル(セレクタ)を連続して繋げていった結果なのです。つまり、そこには記述されているスタイルを読み込み、どう処理するかを決まり事(手順など)がなければなりません。セレクタを作ってスタイルを記述すれば確かにデザインは適用されますが、ただ思いつくままに書いていって、CSSの処理手順の関係で意図した結果が得られないといった事態を招きかねません。このCSSの特性として代表的なものに「適用順」と「上書き」があり、ここからはそれぞれの特性を紹介しておきましょう。

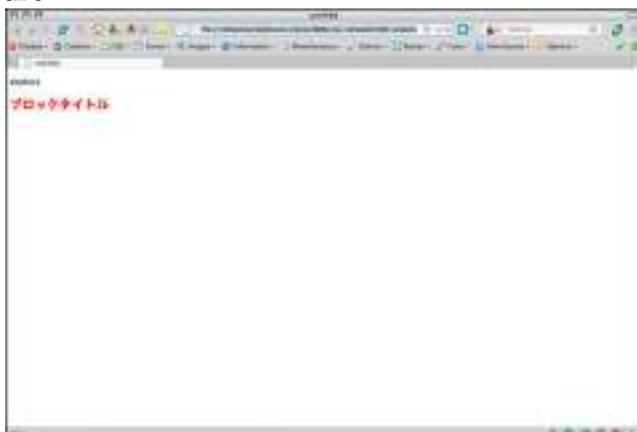
CSSの「適用順(優先順位)」を覚えよう

では、最初に「適用順(優先順位)」について解説しましょう。

CSSではセレクタをひとつのスタイル適用の単位として、縦方向に連続して記述していきます。スタイルシートのファイルで上から下に順番にセレクタが記述されていけば、当然上から下へ順番に読み込まれていくということです。

ですので、仮に同じ名前のセレクタが上下に存在していれば、後に説明する「上書き」の特性と相まって、下のスタイル記述の方が優先され適用される結果になります。下に記述した同名セレクタの存在に気付かず、上に記述したセレクタ内のスタイルだけを変更した場合、いつまで経っても画面上に修正内容が反映されないといったこととなります。特にCSSデザインに慣れないうちは、知らず知らずのうちに同名セレクタを作ってしまうケアレスミスが多いので気をつけましょう。

【図1】



```
[HTML]
<p> before</p>
<h2> ブロックタイトル</h2>
```

```
[CSS]
h2 {
  font-size: 150%;
}
— [中略] —
h2 {
  color: #ff0000;
}
```

【図2】



```
[HTML]
<p>■after</p>
<h2> ブロックタイトル </h2>

[CSS]
h2 {
  font-size: 150%;
  color: #000000; (=文字色変更)
}
-- [中略] --
h2 {
  color: #ff0000;
}
```

同じセレクトが存在している場合、スタイルの適用順は上から下に、つまり下の同名セレクトの内容が優先的に適用される特性がある。例のように「h2」という同じタイプセレクトが上下に存在した場合、文字色を黒にするために上のh2セレクトに「color: #000000;」と記述しても、下のh2セレクトに「color: #ff0000;」がある限り文字色はずっと赤のままだ

適用順の問題は記述の順番だけではありません。前回説明した「タイプセレクト」、「idセレクト」、「classセレクト」という基本セレクトにも実は優先順位が存在しているのです。

この3つのセレクトの中で最も優先順位が高くなるのは、idセレクトになります。idセレクトはピンポイントでHTML中の特定の場所を指示することができるため、特別なスタイルを優先的に割り当てるにはうってつけということからも理解できるでしょう。classセレクトも特定の場所に対してスタイルを適用できますが、classセレクトはHTML内の異なる要素に対して複数適用でき、優先順位はidセレクトよりも下がります。優先順位が一番低いタイプセレクトは、ページ内に何度も出てくる可能性の高いタグそのものにスタイルを適用するため、優先順位は低いといえるでしょう。

これら3つのセレクトを使い子孫セレクトなどと組み合わせた場合、どれが優先されるかは点数式でチェックすることが可能です。一般的に「idセレクト=100点」「classセレクト=10点」「タイプセレクト=1点」という点数をあたえ、子孫セレクトなどの場合にどこが優先され適用されるかを判断可能なのです(*1)。

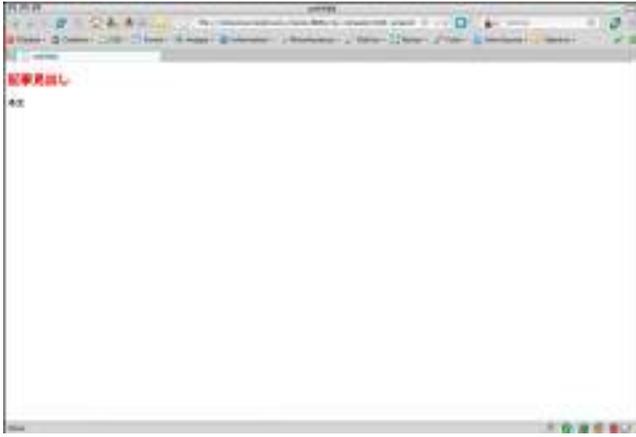
*1:これは別の言葉で「セレクトの個別性」という言い方をすることもあります。点数が高くなればなるほど、優先度が高くなる(=個別性が高くなる)ためスタイルをピンポイントで適用できると考えれば良いでしょう

【図3】



セレクトの種類によって優先順位をわかりやすく表すために図のような計算式が用いられることも多い。単純なセレクトではなく、子孫セレクトのように複数のセレクトでひとつのセレクトとなるものは、その合計値になるため点数も高くなり優先度があがるというわけだ

【図4】



<pre>[HTML] <div id="contents"> <h2 id="pTitle">記事見出し </h2> <p>本文 </p> </div></pre>	<pre>[CSS] h2#pTitle { color: #ff0000 } h2 { font-size: 150%; color: #000000; }</pre>
---	---

単純に記述順の上下だけで適用順が決まるというわけではない。「上から下に適用される」という記述順だけで判断すれば、この例の記述では文字色が黒になりそうだが、この場合は赤になる。idセクタやclassセクタ、タイプセクタにはその優先順位があり、優先順位が高いスタイルが適用されるという特徴がある。これらのセクタを点数式で表すと、「h2#pTitle」セクタは「101点」、「h2」セクタは「1点」ということになり、どちらが優先されるかといえば点数の高い「h2#pTitle」の記述の方が優先される

このようにCSSでは、上から下へという単純な記述順による適用順とセクタの持つ優先順位が絡み合っており、実際のWebページのデザインやレイアウトとして形作られるということ覚えておきましょう。

もうひとつの特性、上書きをうまく利用しよう

前述した適用順(優先順位)と合わせて覚えておきたい特性のひとつが「上書き」の特性です。同名セクタがある場合は、先ほど説明したように下にある方が優先的に適用されます。つまり、同じ要素を示すセクタが複数存在する場合、下にあるセクタに対して同じスタイル指示で別の値を記述すれば、結果として後から出てきたスタイルが適用されます。これがCSSの持つ「上書き」の特性です。最初にボーターの指定、次にフォントの指定という風に全く異なるスタイルを記述した場合は、「最初のスタイル+次のスタイル」という風に最初のスタイルに次のスタイルが追加され、両方のスタイルをもった装飾ができるというわけです。

この上書きの特性は、例えば次のような場合に有効に使えます。グループセクタでいくつかの任意の要素にあらかじめ同じスタイルを適用します。その後、必要に応じて適用順もしくは優先順位を利用したセクタを作ってスタイルを上書きして別のスタイルにしたり、さらにほかのスタイルをプラスしたりという使い方が可能です。このようにすれば、セクタごとに同じスタイル記述を何度も行う必要がなくなり、無駄が省けます。CSSに慣れてきたら、とりあえずセクタを作って書けばいいという考えを捨てて、適用順や上書きの特性を使ってスリムなCSSを書けるような練習をしてみましょう。

【図5】



```
[HTML]
<h1> サイトID テキスト </h1>
<h2> ブロックタイトル </h2>
<p> 説明文テキスト </p>
<div class="entries">
<h3> 記事見出し </h3>
<p> 本文テキスト </p>
</div>

[CSS]
h1, h2, h3, p {
margin: 1em 0;
color: #000000;
}
h2 {
color: #FF0000;
}
p {
font-size: 0.8em;
color: #FF9900;
}
div.entries p {
font-size: 1.2em;
}
```

上書きの特性を使えば、グループセクタで同じスタイルをひとまとめに設定した上で個別のセクタで上書きしてしまう方法が使える。この例の場合、h2要素には最初にグループセクタのスタイルが適用される。続けて個別のh2セクタで文字色だけが上書きされるため、文字色は赤になっている。p要素も同様、グループセクタで指定された文字色がpセクタで上書きされオレンジになる。そして最終的にclass属性のあるdiv要素内のpだけ、優先順位の高い「div.entries p」の内容が適用され、異なるフォントサイズになっているのだ

ここまでの回で実際のCSSを使ったデザインにはいる前に知っておきたいCSSの基本的な知識として、セクタの話とCSSの持つ特性の話をしてきました。いきなり用語の説明から入ってしまいましたが、次回からは個々のスタイル指定のプロパティなどを覚えながら、実際にCSSをどう書いていけばよいか、順を追って説明していく予定です。

Point

- ・CSSは記述順やセクタの種類による優先順位があるということを忘れずに
- ・適用順や上書きの特性を活かして、少ない記述でスタイルを適用しよう